

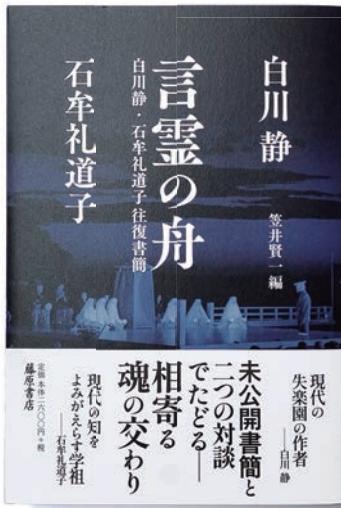
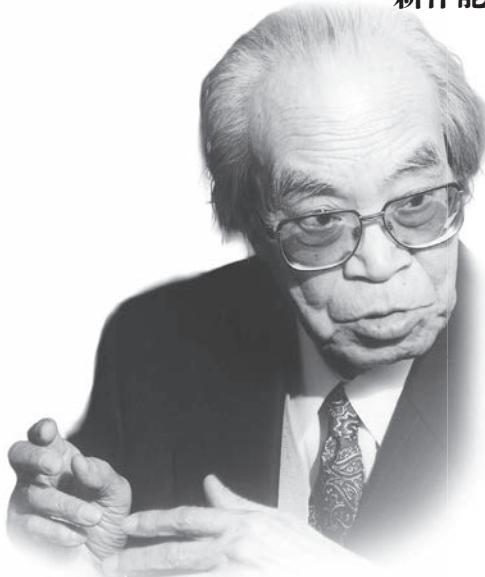
『言靈の舟』

白川静・石牟礼道子往復書簡

(編集・注釈 笠井賢一 藤原書店刊)

刊行記念シンポジウム

—新作能『不知火』、新作狂言『なごりが原』を次世代につなぐ—



石牟礼道子(1927-2018)は、白川静(1910-2006)の文字学が探究する「文字以前」の精神世界に深く共鳴し、白川を「師」と仰いで弟子入りを申し出た。石牟礼の新作能『不知火』には中国古代の音曲の始祖「夔」が重要な役として登場するが、これは白川との出会いから生まれた存在である。そして、晩年の石牟礼道子は「文学の表現は最後には能・狂言に行きつく」と語っていた。

二人の交流の軌跡を示す往復書簡・対談を集成した『言靈の舟』の刊行を記念するとともに、来たる2027年の“石牟礼道子生誕百年”を機に石牟礼の新作能・新作狂言を再演し次世代へ受け継いでゆくことを企図して、白川静・石牟礼道子の仕事に深い関心を寄せてきた方々をお招きし、シンポジウムを開催する。

【一部】 新作狂言『なごりが原』より

(30分)

新作能『不知火』より

野村裕基 笛 竹市 学

梅若紀彰 笛 竹市 学 小鼓 大倉源次郎

【二部】 シンポジウム パネリスト

(五十音順・敬称略)



赤坂真理
(作家)



高橋源一郎
(作家)



田中優子
(法政大学名誉教授、江戸文化研究)



町田 康
(作家)



〈進行〉笠井賢一
(演出家、能楽プロデューサー)

2026.3.11(水) 14:00~17:00 (30分前開場)
アルカディア市ヶ谷 私学会館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目2-25
JR・有楽町線・南北線・新宿線「市ヶ谷駅」徒歩2分



○入場料 3,000円(自由席) ○主催:藤原書店/アトリエ花習
○お申し込みは、左のQRコードのフォーム・お電話・メールにて
藤原書店 Tel.03-5272-0301 info@fujiwara-shoten.co.jp/アトリエ花習 Tel.090-9676-3798

